

# 実務 遺品整理 スタディ

Personal Effects Cleaner

(株)ワンステップサービス 代表取締役

藤川雅幸 Fujikawa Masayuki



vol. 46 藤川雅幸・その1 東日本大震災が参入の転機に

私はもともと、埼玉県蓮田市を拠点に、自動車関係の仕事をしており、その中でインターネット通販を中心とした自動車の全国販売も行っていました。遺品整理業への参入につながる大きな転機となったのは、2011年に発生した東日本大震災です。当時、震災で車を失った東北の多くの方からネットで注文をいただき、購入いただいた方のなかには、車をこちらから配送するまでもなく、切羽詰った状況で、飛行機や夜行バス

を使って、東北から蓮田まで車を直接引き取りに来られるお客様もたくさんいらっしゃいました。会社にとっては、特需のようなかたちで売上げが伸びたわけですが、直接来店いただいたお客様から、ご家族を亡くされたことや、津波で家を流されてしまったことなどの被災状況を直に聞くうちに、逆に後ろめたい気持ちになってしまったのです。

「もっと人から『ありがとう』と言われる仕事があったら」「震災で売上げが上がったのだから、何か社会にお返しをしたい」とそんな思いが芽生えてきた矢先に、たまたま高齢者の孤独死について取り上げたNHKのテレビ番組で「遺品整理」という仕事の重要性を知り、「ぜひこの仕事を」と考えたのです。

それから半年くらいをかけて、遺品整理業に参入するための準備に入りました。まず「遺品整理士」という民間資格があることを知り、「遺品査定士」や「事件現場特殊清掃士」などの資格と合わせて取得していきなりました。また、遺品整理に伴って出るごみの運搬に必要な一般廃棄物処理業の許可については、近隣の町に足繁く通い、遺品整理という高齢化社会のニーズに対応するために必要

な許可であることを根気よく説明し、町長に嘆願書まで出して取得に漕ぎ着けました。とにかく熱意を持って伝えた結果、町にとって必要な仕事とご判断いただけたのだと思います。

一般廃棄物の許可については現在、同町を含め3市町で取得しています。ごみの運搬までを一貫通貫で、それ以外の市町村では地元の許可業者と連携して遺品整理ごみの運搬を行う体制を取っています。

半年の準備期間でもう1つ力を入れたのが、集客に結びつくホームページを立ち上げることです。この間、業界団体が主催するセミナーを東京・大阪で2回受講したときに、事例報告をいただいた講師の中から、自分のイメージするよい業者だと思う会社のホームページを参考にさせていただき、当社独自にアレンジして立ち上げました。ホームページを検索にかかりやすくするために、専門家のアドバイスもあり、とにかくブログをまめに更新するように心がけました。いまなら「遺品整理 埼玉 蓮田」で検索すると当社のホームページが上位に来るようになりますが、最初は検索にかかるようになるまでに半年くらいを要しました。

準備期間を終えて、いよいよ遺品整理業者としてスタートしたわけですが、最初の11カ月間は法人化せず、私を入れた2人で個人事業として業務に当たりました。というのも、2回のセミナーで、講師の方々が「事業を始めて3カ月から半年はほとんど仕事がない」ということを、口を揃えて言っていたので、最初は見得をはずさず、慎重にいろいろ考えたのです。

それでも当社にとって幸運だったのは、自動車販売を通じたお客様から遺品整理の営業先を紹介いただいたこともあり、最初の半年間で仕事が入らずに苦しい思いをした期間が、3週間くらいで済んだことでした。(次号につづく) **W**

## ●執筆者プロフィール●

藤川雅幸 | Fujikawa Masayuki

1965年生まれ。埼玉自動車大学校(旧・埼玉工業専門学校)卒業。卒業後は神奈川県内の大手自動車ディーラーに勤務。その後、母親が経営する有オークマに就職。役員として自動車関連の業務を行う中、東日本大震災を機に、もっと顧客から「ありがとう」と言われる事業を始めたいと考え、某テレビ番組で高齢者をテーマにした番組を観たのをきっかけに、遺品整理・特殊清掃を柱とする株ワンステップサービスを設立。安心・明朗・確実を心がけ、プロの遺品整理を顧客に提供する。